



相談センターだより

第 35 号 2024. 12. 発行

こころの色

このタイトルを見ると、昭和生まれの方は、1980 年代にヒットした中村雅俊さんの『心の色』という名曲を思い出すかもしれません。そもそも実体のない「こころ」に色なんてあるのでしょうか？

こころと色の関係については、心理学、芸術、哲学、そして文化的な観点からさまざまに語られています。心理学では、色が私たちの感情や心の状態に大きな影響を与えることが知られています。また、私たちの心の状態を反映するものとしても色が使われます。例えば、赤は興奮や情熱を、青は冷静や平和を象徴します。日常でも、悲しみを「暗い色」、幸福を「明るい色」と表現することがあります。

芸術作品では、色が心情やテーマを伝える重要な要素となります。多くの画家たちは、それぞれ独自の方法で色彩を使い、視覚的な感情体験を描いています。また、色の象徴する意味は文化によって異なることがあります。赤は、西洋では愛や情熱を象徴しますが、東アジアでは幸福や繁栄の色として使われます。一方、白は西洋では純潔を象徴する色ですが、東アジアでは死や喪を連想させます。このように、心と色は深く結びついており、感情、芸術、文化などを通じて私たちの内面を表現したり理解する手段となります。

「こころに色があるか」という問いには明確な答えはないかもしれません。しかし、色を通じて心を捉えたり、心の状態を他者に伝えたりすることは、私たちの生き方を豊かにしてくれるのではないのでしょうか？

今年 11 月に惜しまれながら亡くなった詩人、谷川俊太郎さんの作品に、このテーマに深く響く詩があります。

『色』

希望は複雑な色をしている
裏切られた心臓の赤
日々の灰色
くちばしの黄色
ブルースの青にまじる
褐色の皮膚
黒魔術の切なさに
錬金術の夢の金色
国々の旗のすべての色に
原始林の緑 そしてもちろん
虹のてれくさい七色

絶望は単純な色をしている
清潔な白だ
(「自選 谷川俊太郎詩集」岩波文庫、2013 年)

心の中で今、どんな色が感じられますか？

相談員 石井洋平

『生まれてきてよかった。』

一口メモ

ある小学校で、「自分やお友達のきらきら星さがしをしよう！」というテーマで授業をしたときの、ある 1 年生の感想です。

“「自分のきらきら星（よいところ）」は、少ししか思いつかなかったけど、友達が、私のきらきら星をたくさん書いてくれた” そうです。

すべての人々のきらきら星がもっと輝きますように。

紹介者：相談員 餅原尚子

■相談内容について■

当相談センターでは、相談者の個人情報の保護に万全の態勢で取り組んでいます。

※当相談センターでは、たとえば、次のようなことでお困りの方のご相談に応じています。

- ・自分自身に関する事 ・対人関係に関する事 ・家族に関する事
- ・お子さんに関する事（発達に関して気になること、不登校等、学校のことなど）
- ・その他

※相談内容によっては、より適切と思われる相談機関などをご紹介しますことがあります。

※相談についての秘密は厳守いたします。

■心理臨床相談センターマップ■

〒895-0011

鹿児島県薩摩川内市天辰町2365番地

鹿児島純心大学 サンタマリア館

<http://www.k-junshin.ac.jp/graduate/consultation.html>

アクセス

◇JR九州新幹線／肥薩おれんじ鉄道／鹿児島本線

・新幹線（鹿児島中央～川内 約12分） 川内駅下車

◇いわさきバスネットワーク

平日と日曜祝日は運行時刻が異なります。

本学ホームページその他をご参照ください。

(1) 路線バス

川内駅西口「川内駅前」バス停から「純心大学」行き 約10分

(2) 高速バスせんだい号

鹿児島（鹿児島中央駅・鹿児島駅）～鹿児島純心大学 約60分

◇南九州西回り自動車道（高速）

鹿児島IC～薩摩川内都IC 約50分

※市来IC～薩摩川内都ICの区間は通行料無料



相談は有料で、全て予約制となっています。まずは、電話にてお申し込みください。

予約日時につきましては、後日、担当のものが電話にてお返事いたします。

電話番号 0996-23-5385（直通）

相談受付 月～金曜日（12時半～17時）・面接時間 月～金曜日（9時～17時）